

# 港湾の機能強化

○ 名古屋港、衣浦港、三河港は、モノづくり中部と世界を結ぶ海のゲートウェイであり、今後も日本の経済・産業をリードする基盤として、コンテナ、完成自動車、バルク貨物などを円滑に取り扱えるよう、機能強化を図る

## 名古屋港の機能強化

中部地域のモノづくり産業を物流面で支える「国際産業戦略港湾」として、機能強化を図る。

総取扱貨物量  
22年連続  
全国第1位



## 衣浦港の機能強化

知多及び西三河地域における物流・生産活動を支える工業港として、機能強化を図る。



## 三河港の機能強化

完成自動車等の国際海上輸送のハブ港として、機能強化を図る。

完成自動車  
輸入台数・金額  
31年連続  
全国第1位



## 港湾の脱炭素化

- 国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す。
  - 名古屋港・衣浦港・三河港において、2023年度に港湾脱炭素化推進計画を策定した。
- <名古屋港における取組事例>
- 鍋田ふ頭: RTGの電動化、ヤード照明のLED化など
  - 飛島ふ頭: 荷役機械及び物流車両を対象とした水素利活用の実証を検討中



水素燃料電池を  
動力源としたRTG

